【三重県】

三重県立亀山高等学校
インターアクト部

高校生ボランティア・アワード2020

！亀山高校インターアクト部プロフィール！

『高校生の自分たちにも できることがある』

イベントの運営ボランティアなど、地域に密着したボランティア活動を中心に、みえ高文祭などの三重県高等学校文化連盟を通しての活動やフェアトレード商品の販売などの国際交流・国際理解を深める活動をしています。

活動は小さなものですが、何のための活動なのかを考えながら真剣に取り組んでいます！

1年生3人、2年生12人、3年生14人の合計29人で活動しています。

！コロナ禍でも「できる」活動！

募金活動

いつも駅前で行っているあしなが学生募金が中止になってしまったので、校内で募金活動ができないかと考え、実行しました。
募金をしてくれる人がいるか不安だったのですが、25,724円集めることができました。
生徒と先生方の協力で、あしなが学生募金に貢献することができたと思います。

プルタブの回収

プルタブを800kg集めると車いす1台と交換できます。先輩たちから続いている活動ですが、新学期のスタートに合わせて呼びかけのポスターを新しく作ったり、各クラスに設置している回収箱を洗いました。

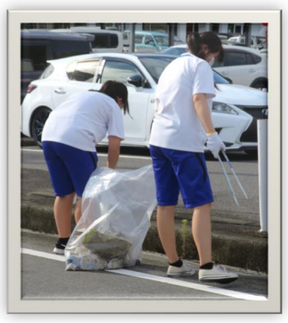
古切手の回収

使用済みの古切手を集めることで、アジアやアフリカの保健医療協力に役立てられます。インターアクト部では、使用済みの切手を集めるために回収袋を作りました。また過去に集めた古切手を部室で見つけたので、破れたり折れたりしていないかなどの分別作業を行いました。

鉛筆の回収

発展途上国で文房具が簡単に手に入らない子どもたちに寄付するための活動です。使わなくなった色鉛筆や鉛筆であれば、私たち高校生でも寄付できると考えました。そこで、私たちは校内に鉛筆の回収箱を設置しポスターを使って呼びかけました。鉛筆の回収には先生方も協力してくださいました。使いかけの文房具でも、必要な人たちに寄付することができるということを多くの人に知ってもらいたいです。

通学路清掃



通学路に落ちているごみを拾いました。登下校中には意識したことはありませんでしたが、いざ活動をしてみると思っていた以上にたくさんごみが落ちていました。ペットボトル等のポイ捨てされたごみが多かったです。ポイ捨ては意識すれば改善できるので、それを呼び掛ける活動ができるといいと思いました。

東野公園清掃

亀山ロータリークラブの皆さんと一緒に、東野公園で草抜きをしたり、枯れ葉などを集めました。活動中に「ありがとう」「助かります」「頑張ってね」と多くの人が声をかけてくれました。市民の憩いの場所である公園の清掃することで、人や地域に十分に貢献できることに気づくことができました。
また、他にも身近なところで自分たちにも何か出来ることがあるのではないかと思いました。

！今後の展望！

新型コロナウイルス感染症の影響で、ほぼすべてのイベントが中止となり、例年のようなインターアクト部の活動ができない日々が続いています。そのようななかでも、「今、自分たちにできること」を考えて活動しています。活動が再開されたら、その活動が何のためにあるのか、今まで以上にしっかりと考えて活動していきたいです。活動には、大変なこともありますが、必ずいい経験になるし、やりがいを感じられるので、まじめに一生懸命取り組んでいきたいです。活動を通して、子どもから高齢者まで、沢山の人と出会えます。常に笑顔で、礼儀を忘れずに楽しんで活動していきたいです。

！例年の活動！

サマーキャンプ

市内の小学4～6年生を対象にした3泊4日のキャンプで、私たちは青年リーダーとして参加しています。地域の方がたくさん協力してくれています。
食事は朝昼晩、火おこしから片付けまで自分たちで行います。協力することや、食事のありがたみを学ぶ場となっています。

この体験を通して子どもたちへの指導の難しさ、仲間の大切さを改めて感じることができました。
子どもたちだけでなく私たちも成長できる活動です。

関宿灯おどり

関宿祇園夏まつりで行われる灯おどりに、踊り手の一員として毎年参加しています。祭りの1ヶ月前に、灯おどり保存会の方に実際の行灯を持って踊り方を教えてもらっています。当日は150人を超える踊り手が両手に行灯を持ち、関宿の古い街並みを1時間かけて踊ります。両手に行灯を持って踊るのでとても暑いですが、「頑張ってね」「ごくろうさん」と声をかけていただいたり、うちわで仰いでくれる方もいらっしゃって最後まで踊りきることができました。

亀山“江戸の道”シティーマラソン大会

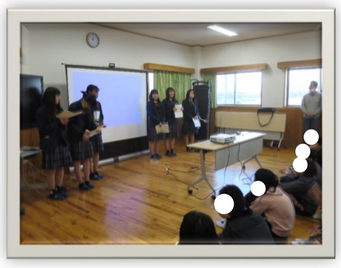
東海道の宿場である亀山の「江戸の道」を走る大会です。ジョギングのコースもあって、毎年子どもから高齢の方まで幅広い年代の方が参加しています。受付やゴール地点の安全見守り、表彰式の補助などをしました。毎年、厳しい寒さで大変ですが、「ありがとう」と言ってくださる方がたくさんいて、簡単な仕事でも誰かの役に立てた気がして、うれしいです。

障がい児交流会

障がいのある子どもたちと私たちが交流する亀山市社会福祉協議会の行事です。2019年は、三重県高文連の「夏の交流会」との合同行事として実施しました。参加する子どもたちが安全に楽めるよう工夫した遊びを考えました。子どもたちにわかりやすく遊びのルールを説明するために、大きな画用紙に書いて説明をしました。子どもたちは真剣な表情で説明を聞いてくれました。予想外の行動をする子もいましたが、自分から子どもたちを誘導したり、話しかけたりすることができ、臨機応変に動くことができました。子どもたちは楽しそうにスキップしたり、仲間の応援をしていたりして、終始笑顔が絶えませんでした。

亀山東小学校での授業

インターアクト部の活動を紹介し、「ボランティア活動がどういうものなのか」を知ってもらう授業をしました。小学生でも知っているイベントを選び、写真を使って具体的に説明しました。何度もリハーサルをし、小学生でもわかりやすいようクイズにしたり、注目してほしいところを目立たせるなど工夫しました。
小学生のみんなは話している私たちの目を見て真剣に聞いてくれました。また、わからないところは積極的に手を挙げて質問してくれました。この授業でボランティアを身近なものに感じてもらえたと思います。



童謡フェスタ

毎年秋に開催され、地域の保育園や幼稚園、合唱団などがステージ発表をしています。
私たちは受付やホール内の注意喚起などをしました。皆さん、いきいきと楽しそうに発表していて私たちも自然と笑顔になりました。子どもから高齢者まで年齢関係なく一緒に楽しみ、笑顔になっているのを見て、本当に温かい行事だと感じました。

亀山大市

旧正月を祝う準備をするため、人が自然と集まったのがきっかけとなり、100年以上続いている祭りです。地元農産物の販売や露店が軒を並べ、とても賑やかです。
私たちは毎年、「フェアトレード商品」であるクマのキーホルダーとチョコレートの販売をしています。
クマのキーホルダーはかわいいし、チョコレートはおいしいけれど、少し手の届きにくい高価な値段です。そのため、フェアトレードや生産者のことを知ってもらうためのチラシも自分たちで作っています。チラシを熱心に見て質問をしてくださる方もいます。チョコレートを買うことが、誰かの助けになっていることを知ることができました。

めんめんフェスタ

毎年6月に開催している、「心のバリアフリー」を目的としたイベントです。亀山の名産品の販売や地域のバンドの出演、介護ロボットやマッサージ体験のコーナーもあります。最初は不安だらけでしたが、スタッフの方のわかりやすい指示のおかげできちんと動け、自信になりました。

赤い羽根共同募金

「じぶんの町を良くするしくみ」として取り組まれている募金活動です。あいあい祭りと、ヒューマンフェスタで行いました。会場を募金箱を持って回ったり、マイクでの呼びかけもしました。自分が参加することで、誰かの役に立てるということが大きなやりがいに感じます。たくさんの方が募金に協力してくれて、とてもうれしい気持ちになりました。

亀山紅茶茶摘み

「亀山べにほまれ紅茶復活プロジェクト」の一環で、年に2回紅茶葉の茶摘みをしています。べにほまれの茶葉は、赤みがかっているのが特徴です。亀山産の紅茶は、以前は日本紅茶のトップブランドだったと教えてもらいました。なかなか体験できない茶摘みをさせていただけるので、楽しく活動できました。以前あったものを蘇らせることは難しいことだと思いますが、これからもこの取り組みに、少しでも貢献できるようお手伝いしていきたいです。

福祉の森まつり

福祉の森まつりは、(福)伊勢きれい会が開催しています。私たちはお好み焼きや飲み物、かき氷などの販売の手伝いをしました。また、障がいのある方々が作ったせっけんやブレスレットなどの小物を売りました。手作りのブレスレットは一つ一つデザインが違い、すべてに魅力を感じました。思いを込めて作っているのが伝わってきました。
ステージではダンスや歌など披露したり、抽選会が行われました。子どもも高齢の方々も楽しんでいて、初めて参加した私たちも楽しかったし、楽しんでもらえて嬉しかったです。

親子パンづくり教室

障がい者とその家族らでつくるNPO法人「ぽっかぽかの会」が、障がいの有無に関わらず楽しんでもらおうと企画し、親子連れ13人が参加しました。2種類のバンズとフルーツポンチを作るときに、包丁や火を使うので、危ない作業は私たちが手伝いました。もっと大変なのかなと思っていましたが、包丁を扱うときは子どもたちは集中して、慎重に切っていました。子どもたちは、「これやりたい」と積極的で、楽しくパン作りを進めることができました。

２０２１年「三重とこわか国体」にむけて

亀山市はウエイトリフティングの会場となります。私たちは、大会の運営としてアナウンスをすることになっており国体に向けて様々なウエイトリフティングの大会に参加し、アナウンスの練習をしています。試技をする選手の紹介や成功か失敗か、次に試技をする選手の紹介などをアナウンスします。試合が始まると気を抜いていられる時間はありません。国体では、周囲の状況を把握してスムーズに試合を進められるようにしたいと思います。落ち着いて最後までやり遂げられるように頑張りたいです。